

市の先駆的事業の協働開発と評価支援

多摩立川保健所

実施年度 開始 平成 1 4 年度 終了 平成 1 4 年度

背景

現在、育児不安を強く抱えている人のアプローチとして、個別の面接、健康・育児相談、育児学級などがあり、保護者への支援の場になっている。しかし、育児不安や母子関係のゆがみから虐待へ移行することもあり、早期の予防活動が重要になってきている。こうした背景から、管内の立川市、国分寺市では、虐待予防を視野にいたれた育児グループの必要性を実感し、事業を企画した。

一方、保健所では、市支援の一環として市が相談にのっている虐待事例をいっしょに検討する、事業を見直し、次年度につなげていくための企画・評価の研修を行う、先駆的事例を聴く機会を設けるなど、ニーズに合わせた支援を実施してきた。

今回、この立川市、国分寺市から事業の企画評価についての相談依頼があり、保健所として虐待予防活動事業の企画評価支援に取り組むことにした。

目標

市の求めに応じ、保健課題に応じた事業企画や評価について調査・研究的な視点から協働で取り組むことで、科学的根拠に基づいた保健活動の推進を目指す。

事業内容

- 1 市の支援事業
立川市M C Gキャロット：事業の評価方法についての検討
国分寺市育児学級たけのこクラス：新たな育児学級の方法の検討、事業評価
- 2 保健所の支援内容
(1) 専門的情報の提供：企画に関する研修の実施
(2) 企画評価相談：事業企画・評価会議の開催
(3) 結果のまとめの相談及び圏域各市への情報提供：事業報告会の開催
(4) 人的予算的支援：保育士及び保健所保健師派遣

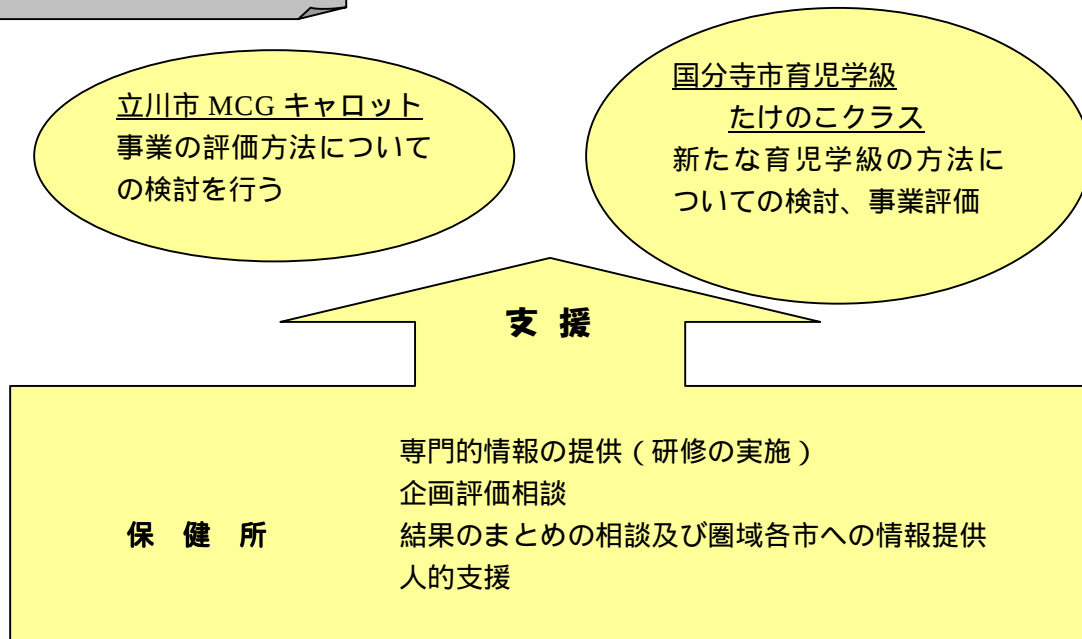
評価

- 1 2市との先駆的事業の実施
依頼があった2市の先駆的事業に企画から事業まで協働で実施することができた。このことで保健所と市が地域の母子保健について共に考える機会を得ることができた。
- 2 事業支援
各市の求めに応じ、事業の企画及び評価について保健所の支援体制を整えた。立川市に関しては2回の評価会議、国分寺市に関しては月1回の事業の企画会議に計画調整係、保健指導係が参加及び運営支援を行った。
- 3 事業報告会の開催
両市の事業の経過、結果について圏域各市に向けた事業報告会を開催し、保健分野における虐待予防について検討することができた。また、対象を保健部門だけではなく、子ども家庭支援センターまで広げ、地域における連携体制についても推進する機会をとらえた。

問い合わせ先

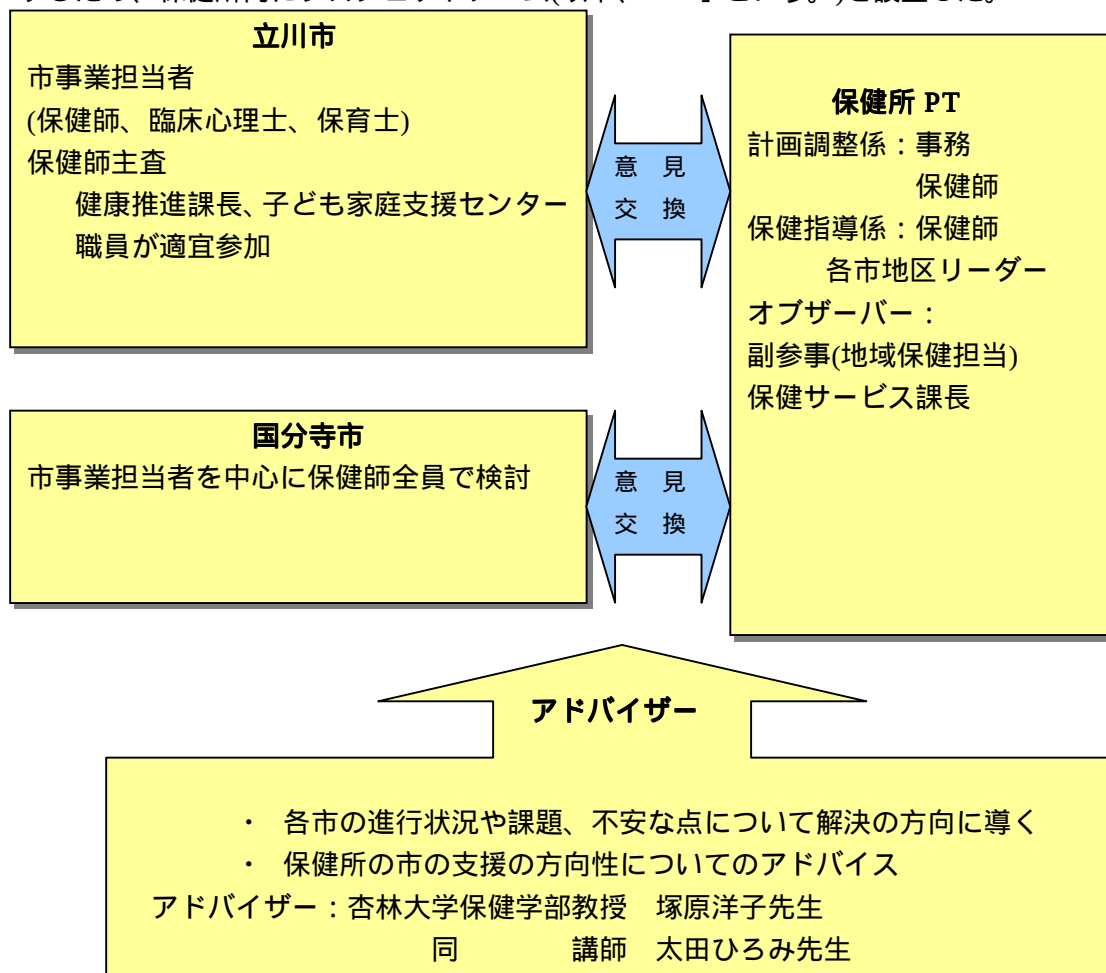
多摩立川保健所地域保健推進室計画調整係
電話：042 - 524 - 5171
ファクシミリ：042 - 524 - 7813
E-Mail：S0000346@section.metro.tokyo.jp

事業全体の概要



体制づくり

各市の実態に合わせた事業の支援体制を築くとともに、保健所としての支援のあり方を検討するため、保健所内にプロジェクトチーム(以下、「PT」という。)を設置した。



実施スケジュール

	平成 13 年度		平成 14 年度											
月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
立川市	実施計画(市)		事業開始(月 1 回定例開催) -----▶											
			中間評価会議						年度末評価会議					
国分寺市	実施計画													
	市・保健所において月 1 回程度の企画会議の開催		◀-----▶											
			事業実施(4 回)											
			評価会議											
保健所	市要望把握		PT 会議立ち上げ											
	保健所体制検討		研修の実施(事業の企画研修)											
			圏域発表会											

各市の事業内容

立川市 MCG キャロット

目的

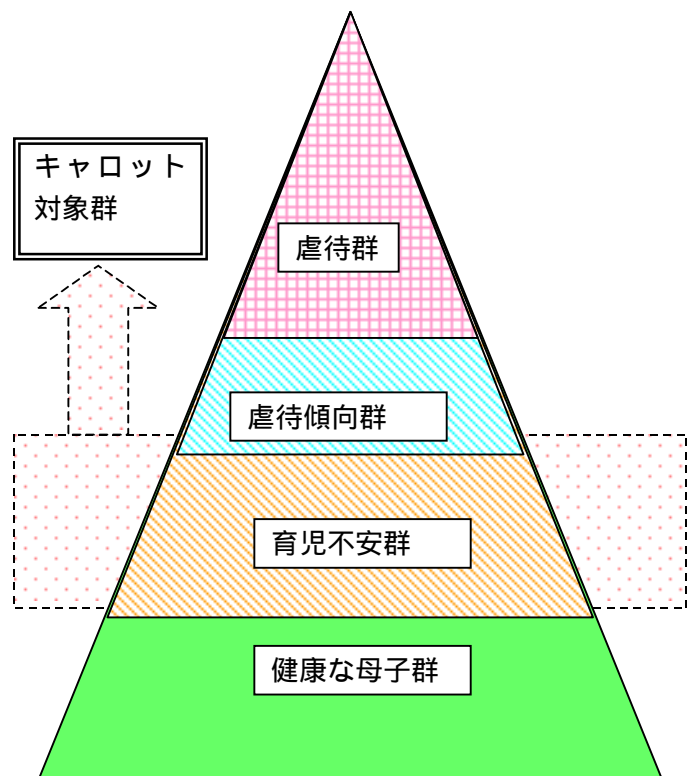
- 育児不安の軽減
育児をしていくうえで、母親自身も気づいていないような漠然とした不安を持っていたり、自分の育児に自信が持てずに悩んでいる母親がミーティングに参加することにより不安の軽減がはかれる。
- 虐待予備軍への早期の関わり
現在持っている悩みが将来も継続していくことにより虐待につながっていく可能性が考えられるケースに対して早期に関わることで虐待を未然に防ぐ。
- 母親の孤立感を支える
ミーティングを通じて、同じ悩みを持つ人がいることを知るとともに安心して悩みを話せる場・人の存在を知ってもらう

内容

月 1 回のグループミーティング

対象：乳幼児を持つ育児不安や虐待傾向がある親

スタッフ：保健師、心理相談員、保育士



国分寺市育児学級たけのこクラス

目的

育児困難感を抱える保護者(母親)が自分自身についての考えを深め、自分自身を好きになり、自分自身がこうなりたいという考えを認識することにより、育児を自分自身の問題として受け止めることができることをねらいとする。

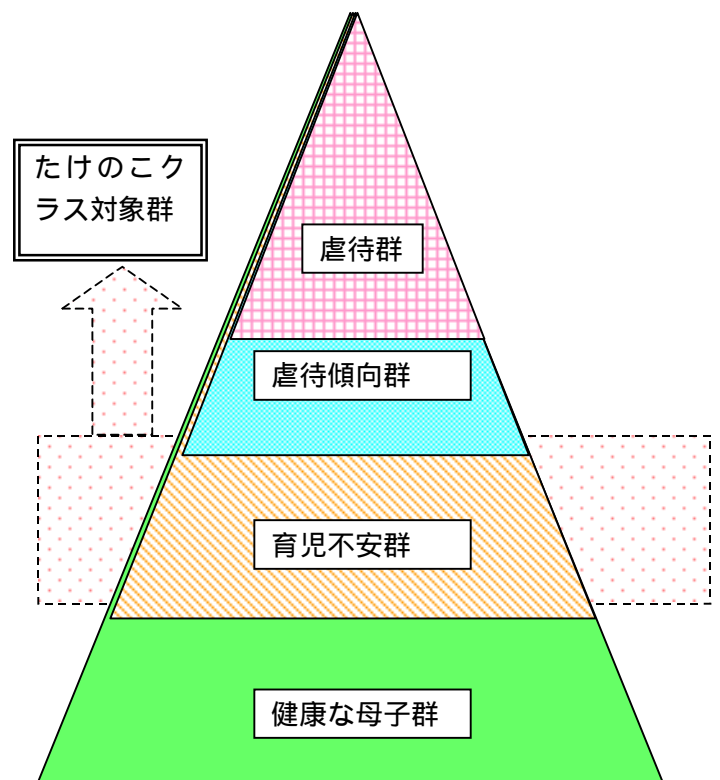
内容

4回のシリーズ研修

セルフエフィカシー(自己効力感)を用いた母親のグループ

対象：乳児をもつ親(おおむね1歳まで)

スタッフ：保健師、保育士、事務



実施経過において課題になったこと

立川市

事業の目的の明確化

市としての事業の位置付けはどこか。

対象の選定方法と勧奨の方法について
アンケートによるスクリーニングとその後の地区担当との連絡方法はどのようにしたら良いのか。チラシの内容について。
カンファレンス・記録について
カンファレンスの持ち方や記録をどこまで残したらいいのか。

評価方法について

何をもって評価するのか。参加者の評価。
欠席者の対応をどのようにするのか。

国分寺市

事業の目的の明確化

「育児力の向上」とはどういうことか。
どの層を対象とするのか。

対象の選定方法と勧奨の方法について
健診からスクリーニングする基準をどうするのか。その後、どのように勧奨していくのか。

プログラムの内容について

各会の目標設定とその内容について。

評価方法について

何を評価していくのか。セルフエフィカシーの活かし方。事業前後のアンケートの内容、グループ時、参加者の言動の把握の仕方について。

保健所が行う支援とその視点

事業の企画・評価支援内容とそのポイント

<支援のステップ>		<ポイント>
ステップ	市が希望する支援内容を把握する	日ごろからの緊密に情報交換できる関係づくり
ステップ	事業目的や目標の明確化へのアドバイス	市が実施したい内容の整理と市の重点課題の分析
ステップ	必要な技術についての研修を行う	課題解決に必要な技術の把握
ステップ	困っている点、疑問点を確認する	困っている内容の課題整理と解決方法などの情報提供、協働検討
ステップ	保健所として広域的な視点で地域に必要なことを提案する	市内や他の地域の取組紹介、事業の位置付けの再確認
ステップ	事業効果を確認する	評価のポイント提案 プレゼンテーション技術の提供

人的支援・財政的支援

事業の企画評価時	保健所職員の派遣 スーパーバイザーの派遣
事業実施	保健所職員の派遣（事業支援） 必要な経費の支援（保育士の派遣）
事業実施後	次年度予算獲得のための支援

アドバイザーの活用

市に対して	事業の課題の整理、方向性についてのアドバイス
保健所に対して	市支援の方向性の確認 保健所の役割の確認

保健所として必要なこと

地域のニーズの把握

地域ニーズの把握	地域の健康問題、市や関係機関における課題、議会における質問、各種市町村計画での課題等の把握と整理
情報の共有化	整理した課題共有化（保健所内、保健所と市）
方針の検討	課題の方針の検討、市町村への働きかけ

支援のための環境づくり

実施可能にするための体制整備	市支援のための保健所内の体制整備 事業支援のためのアドバイザーの活用
他地域への普及	他の地域での実施可能にするための普及活動の実施

保健所としての力量形成

市に求められたときにすぐに応じられるようにするための力量形成	
・ 課題（虐待予防等）を取り巻く、情報の収集、分析能力	
・ 事業の企画評価など施策形成のためのアドバイス能力	など